

コンサルタント業務における 問題意識と改善の方向性

業務プロセスごとの「問題意識」と「改善の方向性」

プロセス	品質確保の視点	問題意識	改善の方向性	前回	今回	次回以降
フィードバック 競争参加者の選定 ↓ 落札者の決定 ↓ 業務の実施 ↓ 完了検査 ↓ 業務成績評価	1. 技術力を重視した業者選定方式の充実	●詳細設計業務等にも技術力の評価が必要である	◆詳細設計業務等への「総合評価方式」の導入			
		●指名競争入札等では高い技術力を持った者が参入しにくい	◆「簡易公募型」契約方式の活用			
	2. 成果品のチェック体制の強化	●プロポーザル方式を実施すべき業務で実施されていない	◆「プロポーザル方式」の適正な運用			
		●設計ミスが多発	◆「設計成果品の品質評価」の導入			
		3. 業務成績評価のフィードバック	●業務成績評価が業者選定に十分に活用されていない	◆業務成績評価の業者選定への反映		
●設計瑕疵が業務成績評価に反映されていない	◆品質評価結果の業務成績評価への反映					
施工段階	4. 施工段階における設計者の関与	●設計思想を施工者に十分に伝達できていない	◆発注者・設計者・施工者による「三者会議」の実施			
全体プロセス	5. 適切な履行期間の確保	●下半期発注の集中による履行期間不足が生じている	◆上半期発注の徹底、発注予定情報の早期公表			
		●入札契約手続き期間が長期化している	◆入札契約手続きの簡素化			
	6. その他	●再委託の実態と問題点がつかめていない	◆再委託の実態調査、改善方策の検討			
●建設会社のノウハウを設計に反映しにくい		◆一部事業への詳細設計付き工事発注の活用				
		●受注者に対して業務の履行に的確な指示等ができない	◆調査職員の監督(調査)体制の強化			